

会議名	令和 6 年度 第 4 回愛荘町健康づくり協議会 会議録
開催日時	令和 6 年 11 月 22 日（金） 13 時 15 分から 14 時 35 分まで
開催場所	愛荘町役場 庁舎別館 2 階 多目的室
出席者	【委員】 10 人 矢部隆宏 西村ふき子 宇野久七郎 上林如子 平野雅穂 中村恭子 村西範彦 稲岡智加 （代）小豆畑靖 小財敬子
欠席者	【委員】 曾我幸史 小川俊子
事務局	堀参事・北村課長補佐・小林課長補佐・畑
傍聴者の数	0 人
議題	健康あいしょう 2 1（第 5 期）計画について
審議内容	○計画の指標・目標値について ○計画全体について
問い合わせ先	健康推進課 担当 畑 あやの 連絡先 0749-42-4887

令和6年度第4回愛荘町健康づくり協議会会議録

日時：令和6年11月22日（金）午後1時15分～

場所：愛荘町役場 庁舎別館2階 多目的室

（開 会）

○あいさつ

1. 報告事項

(1) 第3回健康づくり協議会のまとめ

【資料1】

基本目標3・計画の成果指標

2. 協議事項

(1) 計画の指標・目標値について

【資料2】

(2) 計画全体について

【資料3】

3. その他

次回会議 令和7年2月 日（予定）

（閉 会）

事務局：定刻となったので、令和6年度第4回愛荘町健康づくり協議会を開催する。開会にあたり、協議会会長の矢部様よりご挨拶をお願いします。

矢部会長：第4回目の協議会となる。今回も皆様それぞれのご意見を頂戴したい。本日は、健康あいしょう21の指標・目標値の検討を主に行い、その後、パブリックコメントに向けての計画全体の確認を行う。よろしくお願いします。

事務局：曾我委員、小川委員欠席。木村課長は議会のため欠席。資料の確認をした。
会議要綱第8条第3項の規定により、これから先は矢部会長に議事の進行をお願いします。

矢部会長：それでは、次第に従って進める。次第1「報告事項」、(1)「第3回健康づくり協議会のまとめ」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：資料1について説明をした。

矢部会長：今の説明について、ご質問、ご意見はないか。特にご意見なければ次に進めたい。次第2「協議事項」の(1)「計画の指標・目標値について」、事務局より説明をお願いします。

事務局：資料2に基づき説明をした。

矢部会長：「根拠」について、例えば根拠の「特定健診」とはどういうことか。

事務局：例えば、基本目標１の「①栄養・食生活」の２つ目の「朝食を抜くことが週に３回以上ある人の割合の減少」という指標は、男性、女性とも、４０～７４歳という特定健診の対象者に対して健診時に聴取しており、それに基づいた指標であるため、根拠を「特定健診」としている。生活習慣病についても、愛荘町の１８～３９歳の方を対象に生活習慣病健診を行っており、その方を対象に質問票で回答をいただいている。経年的に見ることができるので、このような形で挙げている。

矢部会長：それでは、先ほどの説明に関して、１人ずつご意見、ご発言をいただきたいと思う。

西村副会長：このようにまとめていただいたので、その目標に向かって、健康推進員として対象となる方の健康づくりに対応していきたいと思う。

宇野委員：特にない。

上林委員：資料２の「小・中学生の朝食欠食率」の令和１１年度目標値は６％だが、資料３のＰ９では１０％になっている。

事務局：資料３のＰ９の令和１１年度目標値は誤りで、小・中学生ともに６％が目標である。

矢部会長：この目標値は、何か参考にした数値があるのか。

事務局：国や県の数値を参考にしている。令和５年度の実績はコロナ禍の影響があるので、通常であった過去の伸び率等を勘案して設定している。

中村委員：Ｐ８の第２章「施策の展開」以降について、「関連する統計・アンケート結果」のところのデータが令和４年度までになっている。数値目標には令和５年度実績値が入っているので、「関連する統計・アンケート結果」のデータも令和５年度まで入れられれば、伸び率や傾向が分かりやすく、５年後の令和１１年度の根拠も想像できるのではないかと思う。Ｐ２２以降の基本目標２のところは全てのグラフに令和５年度のデータも入っている。基本目標１のところも、できたらそうしていただきたい。Ｐ１３の「③アルコール」の指標について、「毎日飲酒する人の割合の減少」を挙げられているが、週２日程度の休肝日を設けるという表現の仕方もある。そうすれば、週２日休肝日を設けなければいけないという啓発にもつながる。どういう形で載せるかについて検討いただければと思う。また、「１日あたりの飲酒量が３合以上の人の割合の減少」について、これは国や県ではアルコール摂取量で示している。「アルコールウォッチ」で調べたところ、日本酒３合は６４．８ｇになる。生活習慣病のリスクの基準は男性４０

g、女性 20 g であり、3 合はかなり多いが、これでいいのか。「④たばこ」について、ここも統計のところに令和 5 年のデータを入れていただければと思う。妊婦の喫煙は、令和 5 年は 0 になっている。前回にはあった妊婦の喫煙の項目が今回は除かれているが、それは 0 になったから除かれたのか。せっかく 0 になっているので、P15 の指標のところにそのことも入れるといいのではないか。「⑤歯と口腔の健康」の P17 の指標について、「かかりつけ歯科医を持つ人の割合の増加」が幼児だけになっているが、方向性としては全年代を通じてかかりつけ歯科医を持つことを推奨されているのではないか。そうであれば、幼児だけに限定するのはどうかと思う。また、その下の「定期的に歯科健診を受ける人の割合の増加」について、資料 3 の P58 を見ると、50 歳代の令和 5 年度実績は 39.1% となっている。P17 の表では令和 6 年度が 92.5% と、かなり数値が高い。この点について教えてほしい。基本目標 3 について、「暮らすことで元気になる社会環境の質の向上」となっているが、地域づくりとか住みやすいまちづくりといった部分の指標がボランティアしかない。国のほうには、地域の人々のつながりが強いと思う者の割合などの目標を挙げている。愛荘町でもそういうものも入れられないか。

村西委員：子どものスマホやタブレット等の利用時間をアンケートでとられているが、それが取組の推進の部分に落とし込めていない。スマホ等の利用が子どもに与える影響や、そのエビデンスも示していただきたい。こういう時代になっているので、今後はもう少し幅広くアンケートをとって深掘りし、それに対する取組を新たに設けることが必要だと思う。うちの子もスマホばかり触っている。いい意味でも悪い意味でも影響があると思うので、それを知っていただく意味でも、情報をもう少し挙げていただきたい。

矢部会長：本当に重要な話だと思う。スマホの影響に関するデータはあるのか。どこかがそういう調査をしているか。

村西委員：勉強をしたあとにスマホを見ると、学んだことがだいぶ失われてしまうという話を聞いたことがある。

西村副会長：私は 12 月に愛知高校の 2 年生に食育の話をするのだが、今年は睡眠とスマホのことも話したいと考えていた。今の話で勉強させていただいた。夜に強い光を浴びるのはいけないとか。恐らく 100% スマホを持っていると思うが、アンケートでスマホを何時間くらい使っているかなど聞いてはどうか。

村西委員：それはアンケートにあった。ただ、それだけだったので、どれくらい持っているかなど、もう少し幅広く調査すると思った。

西村副会長：高校生は町外からも来ているので、どんなことができるだろうかと思っていた。確かに、スマホはいいこともあるがマイナス面もたくさんあるということを伝えるべきだと思った。

矢部会長：北欧では、授業でタブレット端末を使っていた先進国が、急激に成績が落ちたため、紙の教科書に切り替えていると聞く。

小豆畑委員：最新の「広報あいしょう」の1ページ目に愛荘町の学力の特集がある。その中に、子どもたちのスマホ所有率などがグラフで載っている。全国と比べてどれだけ子どもが使っているかとか、ひと月に本を1冊以上読んだかといったデータがある。P51にそういうデータも入れると比較がしやすいのではないかと思った。

矢部会長：小豆畑委員からほかにご意見はあるか。

小豆畑委員：P54の「3. 第4期計画の取組状況」について、◎、○、△などで評価が出ているが、「改善」「改善できず」などは、令和5年度の実績値で出しているのか。例えばP54の上の表は、令和5年度に目標値の100%を達成しなかった胃がんは「○」で、肺がんは100%を達成したから「◎」ということか。

事務局：おっしゃったとおり、現行の第4期計画を策定した平成30年度を基準値として、それと令和5年度を比較して、◎、○、△で評価をしている。令和6年度の最新データがあるとより良いのだが、指標によっては令和6年度が出ていないものもあるので、基本的に令和5年度の実績値を用いて、現行計画の策定当時からどう変化があるかというところで評価をしている。

小財委員：特にない。

平野委員：章立ての変更などの対応をしていただき、お礼申し上げます。言葉の説明については、今の記載方法でいいと思うが、同じ言葉が2、3回出てくる場合は、毎回そのページの欄外に書く形ではなく、最初に出てきたページ数を示せばいいと思う。いったんそれで全部作ってみて、どうするか考えてはどうか。P4の、「噛むCOME+10（プラスチック）」の「ひ・み・こ・の・は・が・いー・ぜ」は、何かそういう言葉があるのか。この地域は卑弥呼が有名なのか。

事務局：日本咀嚼学会が提案する、噛む事の効用を咀嚼回数の多かった弥生時代の卑弥呼にかけて表したものである。

平野委員：P8からが計画の本体だと思うが、「施策の展開」というタイトルではそれが分かりに

くい。そこで、章立てを「施策の展開（基本目標別計画）」としてはどうか。書いてあることは基本目標別の計画なので、「基本目標別計画」と入れればここからが計画であることが分かりやすいと思う。第1章に第4期までの総括が欲しい。P54 までに第4期の資料を載せて、第4期までこういうことをしてきて、課題としてこういうことが残った、だから今回は第2章のような施策の展開を考えたというふうに示したほうが、バランスがいいと思う。今、第1章には、何が大事といったことは書いてあるが、第4期までの振り返りの文章がない。

事務局：第1章の中に第4期計画の総括があるとよいというご意見について、実はそういうものを入れるという案も挙がっていたのだが、どういうことを総括として載せるかというところが悩ましく、今回は載せていない。必要性は感じていた。

平野委員：指標を用いて示してはどうか。例えば栄養の指標が10個あり、そのうち達成できたのは5個、達成できなかったのは4個、変わらなかったのは1個だったという成績表を付けて、達成できなかった4個について、ここができてないというふうに、指標に基づいた総括をすると分かりやすいのではないかと思う。加えて、多分、令和8年くらいに中間評価をすると思うので、そのことも書くといいと思う。

稲岡委員：「⑤歯・口腔の健康」の指標について、先ほど中村委員も言われたが、50歳代の定期的に歯科検診を受ける人の割合がとても高いので驚いた。どうなっているのか。

事務局：資料2の令和6年度の数値と、資料3のP58の令和5年度の実績値は、根拠が違っている。資料2のほうは、生活習慣病健診や特定健診の際にアンケートをとった結果で、令和6年度に実施したものである。P58の30代・50代の数値は、令和5年度にこの計画の策定にあたって実施したアンケートの結果である。現行計画の指標には、特定健診や生活習慣病健診において歯の取組をしていく中で、定期的に受診する方を増やしていきたいという狙いもあった。ただ、この計画期間にコロナ禍になり、歯の取組が集団健診の中での歯の取組が思うように進まず、令和5年度で取組の評価もできなかったため、今分かる数値を挙げた。ただ、計画のアンケートは経年的に実施するものではないので、資料2のほうには、生活習慣病健診や特定健診の中でアンケートをとった結果を載せた。そのため、受診者の偏りなどがあるためか、数値が高くなっている。

稲岡委員：特定健診の方を対象にすると、国保に入っている人のみになる。住民アンケートは、保険者は関係なく住民全体の回答になる。

事務局：住民アンケートは毎年実施するわけではないため、P58の指標では中間評価は難しい。同じ指標の文言で、P17には特定健診における数値という注意書きがなく分かりづらいので、注意書きをすることも含めて、事務局のほうで再度検討したいと思う。

稲岡委員：「かかりつけ歯科医を持つ人の割合の増加」の指標が幼児だけでいいのかかというご意見について、県の目標値は、「かかりつけ歯科医院を持っている３歳児の割合」という項目になっていることを参考までにお伝えする。

中村委員：根拠は記載していただいたほうがいいと思う。後ろの資料編と P34 以降で挙げられている実績値は、きちっと整合性をとるか、違っていればその説明をどこかに入れる必要があると思う。

矢部会長：ほかにはいかがか。

平野委員：計画の期間の図はないのか。

事務局：資料編の P36 にある。

平野委員：ここに、いつ中間評価をするという記載もあるといいと思う。愛荘町の総合計画等との関係の記載はあるか。例えば健康日本 21 の計画はいつからいつまで、愛荘町の計画はいつからいつまで、中間評価はいつするということがここにあるといいと思う。また、これ以外の健康に関する計画、例えば食育や自殺対策の計画の位置付けの図もあるとなお良いと思う。

事務局：それは資料編の P35 にある。

矢部会長：ほかにご意見はないか。なければ、協議事項(2)「計画全体について」に進む。事務局から説明をお願いします。

事務局：今後の予定として、今回協議いただいた内容を反映した計画について、年明けくらいにパブリックコメントを予定している。パブリックコメントの前に議会のほうでも説明をする。その前に、計画全体についてご意見があればいただきたい。第１回目からご協議いただいた内容や、本日も幾つか全体に関わるご意見をいただいているが、そのほかにご意見等はないか。

矢部会長：追加でご意見があれば、いただければありがたい。順番にお願いします。

西村副会長：ない。

宇野委員：ない。

上林委員：特にない。

中村委員：P34 以降の資料編の部分について、これは第4期の評価で、その評価を受けて今回の第5期計画があるという形になると思うが、第4期の取組の○、△、×なども含めて、そこを第5期でどうしていくのかという関連性が読み取りにくい。そういうことを意識して第5期ができたらいいいと思った。

村西委員：時代も変わってきているので、今の時代に合わせた形にもう少しブラッシュアップできるといいと思う。

小豆畑委員：平野委員の話を伺って、P54 の第4期計画との比較の○、△などの評価基準が、こうだから○、こうだから△ということがもう少し分かりやすいといいと私も思った。

小財委員：特にない。

稲岡委員：特にない。

平野委員：目標値の設定について、例えば小学校6年生の朝食欠食率を7.4%から6%にするという目標があるが、今、小学校6年生は愛荘町全体で何人いるのか。

事務局：200～250 人くらいである。

平野委員：250 人とする、7.4%を6%にということは、18 人を15 人にするということになる。3 人しか減らないが、それでいいのか。パブコメをすると恐らくそういう話が出ると思う。有意差が出るように設定するという考え方もあるが、それを達成することはとても大変だと思う。

事務局：確かに、目標値と言いながら、達成できそうな値を掲げているところがある。中には、国や県より上回っているような愛荘町ならではの強みの部分など、かなり強気の数値を出しているものもあるが、欠食率についてもそのような設定にしたほうがいいか。

平野委員：1 学年 250 人という分母も分かっているので、18 人食べてこない現状から、有意差が出るように下げるというのは、計算上はできる。ほかの指標には、計算ができないものもあると思う。

矢部会長：目標値は難しい。ほかにご意見はないか。なければ、事務局にお返しする。

事務局：ご意見をいただきたいところがある。基本目標2の「ライフコースを見据えた取組の推

進」の②の「若者・働き盛り世代の健康づくり」の指標として、飲酒の指標を再掲で挙げているが、ここの「生活習慣病の予防、周知・啓発」、「心の健康に関する相談体制の充実」の取組を評価していくにあたって、指標はこれでよいのか悩んでいる。この指標について、ご意見、ご提案などをいただけるとありがたい。

矢部会長：平野委員、何かないか。

平野委員：思い付かない。ライフコースの子どもの部分については、適正体重を維持すると言うと今までは肥満ばかり考えていたが、女性や中学生はやせのほうも問題になっているので、それを特出ししてもいいかもしれない。それと、ライフコースなので妊婦の目標があってもいいのではないかと思った。妊婦自身の喫煙率の低下という指標はあったか。

事務局：第4期にはあったが、0になったので削除した。愛荘町では妊婦の喫煙率よりも同居の喫煙率が課題としてあったので、次期計画についてはそちらを中心に考えた。

平野委員：妊婦の喫煙率が0というのは素晴らしいことである。ゼロを維持することも1つの目標として、2つ目の目標を同居者の喫煙にするといいのではないか。

矢部会長：ゼロを維持ということも、目標としていいと思う。

宇野委員：妊婦の時だけ喫煙をやめて、産み終わったらまた喫煙する人もいる。出産した後も吸わないということで、「維持」ではなく「継続」とするといいいのではないか。

事務局：次第3「その他」に移る。

事務局：いろいろとご協議いただき、お礼申し上げます。「その他」として、第5回の会議をパブリックコメント後に予定している。今、日程調整のお願いをしている。出そろい次第日程を連絡する。2月中は変わらない。

事務局：本日、指標、目標値等について多くの意見をいただいた。第1章に前期計画の振り返りを入れるということ、また、最後の資料編についても、第4期計画の評価が◎、○、△でとどまっているので、評価をしっかりと踏まえた振り返りを入れたいと思っている。このあと、12月議会で議員の皆様へ提示し、1月にパブリックコメントを実施する。そこでいただいた意見を反映したものや概要版等を2月に皆様へ提示し、最終のご協議をいただきたいと思っている。本日、たくさんのご意見を頂戴したので、議会やパブリックコメントの前に案を皆様にご提示したいと考えている。率直な

以上